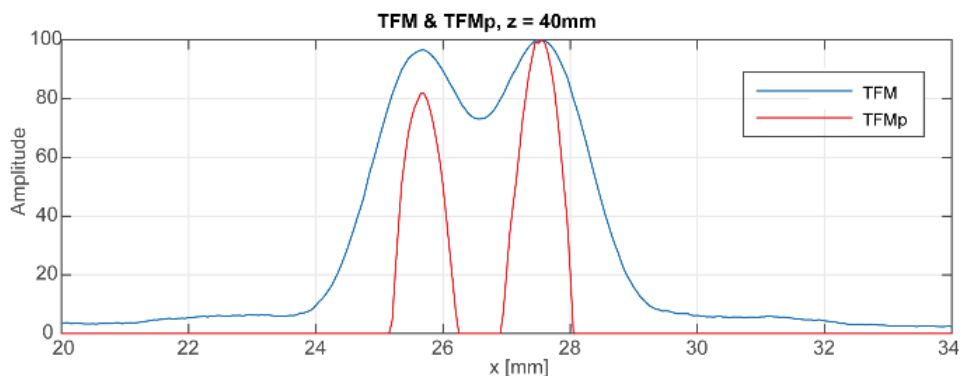
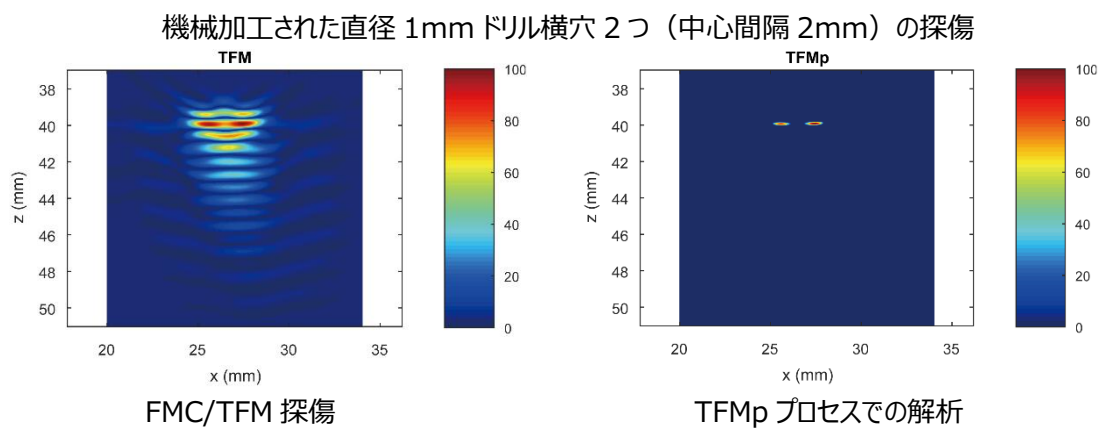


「FMC/TFM の逆問題法による解析」

FMC/TFM（フルマトリクスキャプチャ/トータルフォーカシングメソッド）は、関心領域（TFM-003 参照）を構成するピクセル点全点に対して、完全なフォーカスを与えて画像化する技術です。関心領域内で受信波形の重なり合いがある場合、ピクセル点はキズの指示として高い輝度値が与えられます。しかし、金属粒界が粗大な場合やキズに対して超音波の波長が長い場合、FMC/TFM 技術であっても SN 比と方位分解能が低下することがあります。逆問題法-ペナルティ関数法（TFMp）解析アプローチはこれらの問題を解決する一手法です。



深さ 40mm 位置でのラインプロファイル

● アプリケーション

- オーステナイトステンレス鋳造品の超音波探傷
- ステンレス溶接部の探傷結果の解析
- SN 比を向上させる必要がある場合の解析
- 形状エコーとキズエコーの識別が困難な探傷結果の解析

より詳細な情報は、弊社 info@db-kk.com までお問い合わせください。
技術検討及び評価試験のご相談も受けいたします。